

『ガスと椅子とエスとレス』

椅子が4つ並べられている。(A・B・C・D)

それぞれの椅子に人格が割り当てられており、そこに座ること
その人物の役を演じることになる。なので、劇中で何度も役が入
れ替わったりする。(椅子にはそれぞれの人物名が表記)

・A……《水島様》

・B……《ガス人間様》

・C……《先生様》

・D……《富士の千代 関》

兼島、Aの椅子に座り、誰かからインタビューを受けているか
のように話している。

兼島 や、はじめはね、偶然なんですよ。こうなったのも。なんかね？ あ
の、あれ、風船。飛んできたんですよ、いきなり。というか、飛ん
きたというか、落ちてきたんですけど。でね？ その風船に、なん
かついてて。で、見たらなんか、へんな手紙みたいな感じなんです。で、
それをね、読むじゃないですか、普通に。したら、なんかへんなこ
と書いてて。助けて、みたいな。で。え？ ってなって、読むじゃな
いですか。したらなんか、拷問されてる、みたいな。警察呼べよ
って感じなんですけど、普通。でもね、それ読んでたらね、興奮しちゃ
って……

喜久山、志喜屋に引きずられながら出てくる。

喜久山は、板と棒を持っている。

兼島(喜久山を指し) 多分あの何か持ってる方ですね、手紙出したの。

志喜屋、喜久山から板を奪い、それを喜久山の腹に(服の中に)
入れる。

怯えている喜久山。すいません、などと声を漏らしている。

志喜屋、棒を奪い、喜久山の腹を殴る。

それを何度か繰り返している。

喜久山はぐったりしている様子。

志喜屋、無表情で突っ立っている。

兼島(インタビューに)ね？ ひどいでしょ？ でもね、僕、ああいう
の嫌いじゃないっていうか、むしろ好きっていうか、たぶん。

喜久山、Bの椅子に腰掛け、インタビューを受けている。

喜久山 いや、マジ辛いですよ。やべえーとか思ってる。マジ勘弁、とか思
ってる。マジあいつ狂ってるわ、とか思ってる。

志喜屋、いつのまにかCの椅子に腰掛けている。

志喜屋 でもね、あいつも悪いんですよ？ 何も言わないから。何か言っ

てくれたら、こっちだってその時は考えますよ。でも何も言わないから大

丈夫なんだな、って思うじゃないですか。それをね、直接こっちに言わず、風船で飛ばしちゃうなんて、ねえ？ どっちがおかしいんだよ、って、思いませんか？ まあもういいんですけれど、終わったことなんで。喜久山 いや、マジ許さねーとか思ってる。あんなやつが「先生」とか呼ばれて、マジ世も末じゃん、とか思ってる。意味わかんねーし。マジ訳ワカメ。ってというか、訳ワカメって古くないっすか？

兼島、それまでにDの椅子に移っている。

兼島 いや、全然知らなかったですね、そんなことがあったなんて。水島とは、部屋の中では一番親しかったんですけどね。飯もよく行っていた。でも風船の話とかは……

喜久山、Aの椅子へ。

兼島（喜久山に）したっけ？

喜久山（兼島に）え？ いや。

兼島（喜久山に）なんで言わなかったの？

喜久山（兼島に）や、べつに……。

兼島（喜久山に）あ、そ。（向き直り）だそうす。

兼島、立ち上がり、消える。

喜久山 正直言うと（Dの椅子の方を気にしながら）……これ、大丈夫で

すかね、言っちゃって……（ヒソヒソと）あの、付き合ってたんですよ、俺。千代さんと……ガチで。でね、で……でも、千代さんは、先生ともそういうあれで、そのとき。あの、二股？（志喜屋に）ですよ、ね？

志喜屋（恥ずかしそうに）まあ、はい。

喜久山（向き直り）で、これもぶっちゃけちゃうと、千代さんね、あの、あれになって、突然……インポテンツになっちゃって……（志喜屋に）ね？

志喜屋 うん。

喜久山（志喜屋に）大丈夫でした？ あれ。

志喜屋（喜久山に）いやー、きつかったよね。

喜久山（志喜屋に）ですよ！

兼島、いつのまにか出てきている。

志喜屋、立ち上がり、椅子の背もたれに手をつけて尻を兼島に向けて立っている。

兼島 ……ごめん（消える）

志喜屋 ……大丈夫……。

喜久山 なんて言っても、心の中は……（志喜屋に）ね？

志喜屋（Cに座りながら）そうだね。あんなに相撲強いのに、夜になったら、ね？

喜久山（志喜屋に）はい。って言っても、八百長じゃないですか。

志喜屋（喜久山に）まあそうなんだけど。（向き直り）え？ 知りません

でしたか？ 実はね、取り組み相手に、まあ、賄賂っていうのかな？
そういうのを渡してたの。百万くらいずつ。あ、僕がね？ たぶん、
富士の千代自身は気付いてないと思うな。僕が勝手にやってただけな
んで。だって、ねえ？ 横綱なつて欲しいでしょ？ 好きだったし。

喜久山、Bの椅子へ。

喜久山 好きならてめえでヤレよつて話じゃないっすか。俺に銀行強盗と
かさせて。マジ勘弁とか思って。でも、断ったら、あいつすぐ殴るん
すよ。殴つて、なんか変な部屋にぶち込まれるんすよ。マジくそじゃ
ないっすか。だから、しゃーなしで。いちおう自分、ガス人間なんす
よ。あいつに改造されたんで。だから、べつに強盗とかよーなんす
けど。

志喜屋 補足すると、ガス人間っていうのは、文字通りガスで出来た人間
なんです。自在に気体になれるし、いざという時には爆発もできるん
です。僕の研究分野なんですけどね。臨床例がもう400くらいある
ので、そろそろ実用化してもいいんですけどね。

喜久山、立ち上がる。

兼島、銃を持って登場し、置いてあった板と棒を取る。

兼島（喜久山に）おい、ガス人間。

喜久山（兼島に）はい？

兼島（銃を渡しながら）お金おろしてきて？

喜久山（受け取りながら）はい？

兼島 お金。

喜久山 はい？

兼島 おろしてきて。

喜久山 ……はい？

兼島、喜久山を、不快なリズムで殴る。

志喜屋、その光景をぼんやり眺めている。

志喜屋 あ、殴つてる方が僕です。

まだ殴っている。

志喜屋（立ち上がり）違うよ！ こうやんだよ。

志喜屋、兼島から棒を奪い、リズム良く喜久山を殴る。

兼島、その間にCの椅子に座る。

兼島 でもね、せつかく横綱にさせてあげたのに、インポテンツでしょ？
がっかりですよ、かなり。いやね、僕が彼のタニマチになったのも、
思い通りにしたいと思っただけなんです。横綱を支配するって、興
奮するでしょ？ でもね、勃たなかったんですよ、言うこと聞かない
んですよ、彼のは。もうほんと、がっかりですよ。

志喜屋、Dの椅子に座っている。

志喜屋 え？ あいつら、言っちゃったの？ 二股のこと！ え？ も
う、なんだよ！

喜久山、Aに座っている。

喜久山 や、いつかは治るかなって、ね？ 思ったんですけど、あれが。
あの、あれが、ね？ だから我慢？ しよーかなーって、ね？ でも、
無理でしたね。やっぱ、毎回、今日も？ ってなって。いつまで？ つ
てなって。だからもう、僕から言っ
て。え？ そのことも言ったの？ え、ダメだよそれ！ 営業妨害
だよ！

喜久山、兼島、同時に立ち上がる。

喜久山（兼島に）あの、千代さん。

兼島 どうした？

喜久山 あの、俺たち、もう、終わりにしませんか？

兼島 え？ なんで？ なに、別れようってこと？

喜久山（うなずく）

兼島 やだ！ 絶対やだ！ 別れたくない！ なんで？ やだやだ！

志喜屋（二人に）俺、そんな風言っ
てないぞ！

喜久山（Aに戻り）キモくない
すか？ ちよーキモいつすよね！

志喜屋（喜久山に）おい！

志喜屋、立ち上がり、喜久山を退けてAに座る。

喜久山（志喜屋に）ちよつと！

志喜屋 千代さん、最後まで格好よかつたんですよ！

志喜屋、Dに戻る。

喜久山、Aに戻る。

喜久山 ……見ました？ ちっさ！ みたいな。ね？ 横綱ですよ？ あ
れでも。もう相撲界ヤバ、つてね、思いますよね？

兼島、それまでにCに座っている。

兼島 でも、わかる！ だから僕も、別れようと思ったの。小さいよね？
器が。

喜久山（兼島に）そうなんですよ。こつちがね、いろいろ言うじゃないで
すか。やってほしいこととか。あれのときとか、ね？

兼島（喜久山に）たとえば？

喜久山 いっぱいあるんですけど……なんかね。あの、ああいうのとき
つて、なんか、踏んでほしいじゃないですか？ 踏んでほしいんです
よ、俺は。踏まれたらね、なんか、いいんですよ。

兼島（興奮気味に）ほお！

喜久山 でも、踏まないんです。

兼島 えー？ それはない！

喜久山 ね？ あとね、あの、俺がやるのを。一人でね、やるの、あれ、あるじゃないですか？ それね、見てくれないんですよ。

兼島 やつてるところを？

喜久山 はい。そもそもは、千代さんから始めたんですよ？ あるとき、見せろって、千代さんが言ってる。しかも、風俗ですよ？ 知らない女の人もいて。急に、いまここでしろ、みたいな。ニヤニヤしながら。で、するじゃないですか。そしたら、なんか、引いてんですよ。

兼島 させといて？

喜久山 させといて。あの後も何回かお願いしたんですけど、見なくて。

意味わかんないじゃないですか。

志喜屋（喜久山に）いや、見ないでしょ！

喜久山（シカト）だからね、もうちよつと、ないわーって。

兼島（何度も頷く）うんうんうん。

喜久山（向き直り）ね？ キモくないですか？

志喜屋、大きな音を立てて立ち上がり、去っていく。
その姿を見ている二人。

間

喜久山 怒りましたかね？

兼島 さあ？ まあどつちでもいいけどね。

志喜屋、出てきて兼島の横に立つ。

志喜屋（兼島に）強盗終わったんすけど。

兼島（蹴りながら）遅いよ！

志喜屋 さーせん。

兼島 ちゃんと出来た？

志喜屋 はい。

兼島 あ、そ。

兼島、立ち上がり、志喜屋を殴る。

志喜屋、ぐったりしていて、殴られても無反応。

喜久山、それを見てちよつと興奮している。

喜久山（志喜屋に）あ、ちよつと変わって！（兼島に）いいですか？

兼島（うなづく）

喜久山、志喜屋と変わって殴られる。

志喜屋、Aの椅子に。

志喜屋 で、俺と、先生とが、できちゃったっていう。そのときはもう先生も、千代さんとはあれで。別れてて。（Cの方に）ね？

志喜屋、Cに移る。

志喜屋 うん……まあ……。

志喜屋、Bの椅子に移動。

目の前では相変わらず殴られている。

志喜屋 頭おかしーんすよ、マジで。マジキチガイとか思っ

兼島・喜久山 は？

志喜屋 さーせん。

志喜屋、立ち上がり、逃げるように消える。

兼島、Bの椅子。

喜久山、Dの椅子。

兼島 バカなんすよ、マジで。逆に。ヤバいつすよ。マジ痛えとか、マジ死ぬとか思っ

て。で、実際死んじやったんすけどね、自分。マジ痛えとか思っ

て。殺してんじやねーよとか思っ

て。マジ死んじまえとか思っ

て、あいつら二人。人のこと殺しといて、その前でアレとかやっ

てんすよ？ マジ訳ワカメとか思っ

て。ってか、訳ワカメってなんす

か？

喜久山（兼島に）な？ あいつら頭おかしいよな？

兼島（喜久山に）はい？（向き直り）なんか話しかけてきてんだけど。マジブス、とか思っ

て。ボコボコダリーとか思っ

て。肥満だよマジで。もう帰っていいつすか？ 自分もう死んでるんで。

兼島、立ち上がり去っていく。

志喜屋、椅子を持って出てきて、それに座る。

志喜屋 えー富士の千代？ うーん、嫌い。え？ なんかあ、臭そう。

志喜屋、椅子を持って去っていく。

喜久山（志喜屋の背中に）誰あれ？ ……誰あれ！ あれアリ？

志喜屋、兼島を引っ張ってくる。

兼島、Bに座らされる。

志喜屋、Cに座る。

兼島（志喜屋に）なんですか、いったい？

志喜屋（兼島に）ごめんね、急に。いま時間ある？ 名前は？ 自分の人

生どうでもいいとか思っ

てない？ 死ぬことについてどう思う？

兼島 はい？

志喜屋 いいね、君。センスいいね。君、ガス人間に興味ある？

兼島 はい？

志喜屋 いいよ。

いつのまにか喜久山はAに移っている。

喜久山（兼島に）俺たちさ、あ、俺たちって、先生と、俺ね。先生と俺さ、

ちよつとあそこに行こうと思つて。あれ、島？ 南の方の。

兼島（喜久山に）はい？

志喜屋 富士の千代つていう力士がいるんだけど、知ってる？ そいつを、

ちよつと捕まえてもらうんだけど、警察に。

兼島（志喜屋に）はい？

喜久山 あいつ臭いし。

兼島（喜久山に）はい？

志喜屋 君さ、今後、水島くんになつてつてもうらうからさ。

兼島（志喜屋に）はい？

喜久山 や、なんか、探されたら、あれなの。困る。搜索願とか出されたら、ね？

兼島（喜久山に）はい？

志喜屋 富士の千代が逮捕されたら、自首して？

兼島（志喜屋に）はい？

喜久山 で、あれして？ 爆発。

兼島（喜久山に）はい？

志喜屋 わかった？

兼島（志喜屋に）はい？

志喜屋（兼島を殴りながら）はい！ だろ！

喜久山（志喜屋に）俺にも、いいですか？ もらつても。

兼島（喜久山に）はい？

志喜屋（兼島を殴りながら）お前じゃねえよ。

兼島（志喜屋に）はい？

喜久山（志喜屋に）もう先生！ ズルい。

間

志喜屋（兼島を殴りながら）言えよ！

兼島（志喜屋に）はい？

喜久山 なんだよお前だけ！

兼島（喜久山に）はい？

了
いつの間にか、真っ暗になっている。

段々と薄暗くなつていく。（照明F・O）